

医療用医薬品最新品質情報集（ブルーブック）

2020.12.24 初版

有効成分	チニダゾール		
品目名（製造販売業者） 【後発医薬品】	1	チニダゾール錠200mg「F」	富士製薬工業
	2	チニダゾール錠500mg「F」	富士製薬工業
品目名（製造販売業者） 【先発医薬品】	①	なし	
効能・効果	<a href="http://www.bbdb.jp">http://www.bbdb.jp</a>		
用法・用量	<a href="http://www.bbdb.jp">http://www.bbdb.jp</a>		
添加物	<a href="http://www.bbdb.jp">http://www.bbdb.jp</a>		
解離定数 <sup>1)</sup>	pKa : 1.84（吸光度法）		
溶解度 <sup>1)</sup> (37℃)	pH1.2 : 27.5mg/mL pH4.0 : 14.3mg/mL pH6.8 : 13.2mg/mL 水 : 14.0mg/mL		
原薬の安定性 <sup>1)</sup>	水	室温において、24時間は安定である。	
	液性(pH)	pH1.2、pH4.0及びpH6.8、室温において、24時間は安定である。	
	光	固体状態では淡黄色から褐色を帯びるが、含量の低下は、ほとんどみられない。水溶液中では含量の低下がみられる。(240,000lx・hr) pH1.2、pH4.0、pH6.8、水において、含量の低下は、1.3%、15.3%、7.1%、6.1%である。	
	その他	なし	
膜透過性	なし		
BCS・Biowaiver option	なし		
薬効分類	641 抗原虫剤		
規格単位	200mg 1錠 500mg 1錠		

【記載データ一覧】

	品目名	製造販売業者	BE	品質 再評価	溶出	検査
1	チニダゾール錠200mg「F」	富士製薬工業	○	○*		
2	チニダゾール錠500mg「F」	富士製薬工業	○	○*		

注)「BE」は、生物学的同等性(BE)試験結果を示し、○印がついているものは本情報集にデータを掲載している。【3ページ】

注)「品質再評価」の項目に○印がついているものは、品質再評価結果通知<sup>2)</sup>が発出されている品目である。空欄となっているものは、品質再評価指定以降に承認された品目等である。なお、参考として、品質再評価の際の先発医薬品の溶出曲線測定例を本情報集に掲載している。【4ページ】

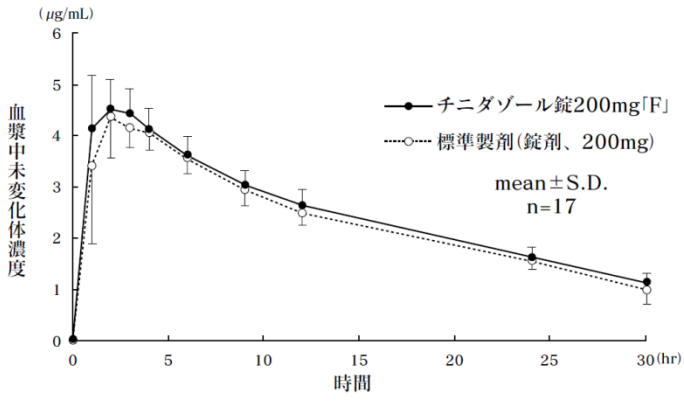
注)「溶出」は、ジェネリック医薬品品質情報検討会での溶出試験結果を示し、上記表中に番号の記載があるものは、試験を実施した品目である(上記表中の番号は、本情報集に掲載された溶出試験結果中の番号と対応している)。全品目で空欄となっている場合は、溶出試験未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該試験実施以降に承認された品目等である。【5ページ】

注)「検査」は、後発医薬品品質確保対策事業検査結果を示し、上記表中に○印がついているものは検査を実施した品目である。全品目で空欄となっている場合は、検査未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該検査実施以降に承認された品目等である。【6ページ】

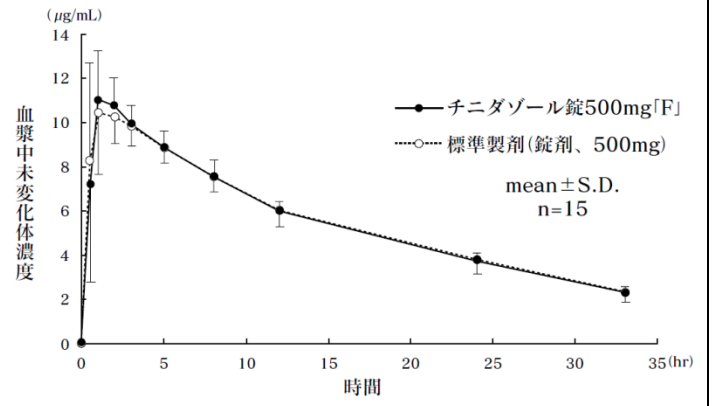
\*: 旧販売名で記載

【生物学的同等性 (BE) 試験結果】

1



2



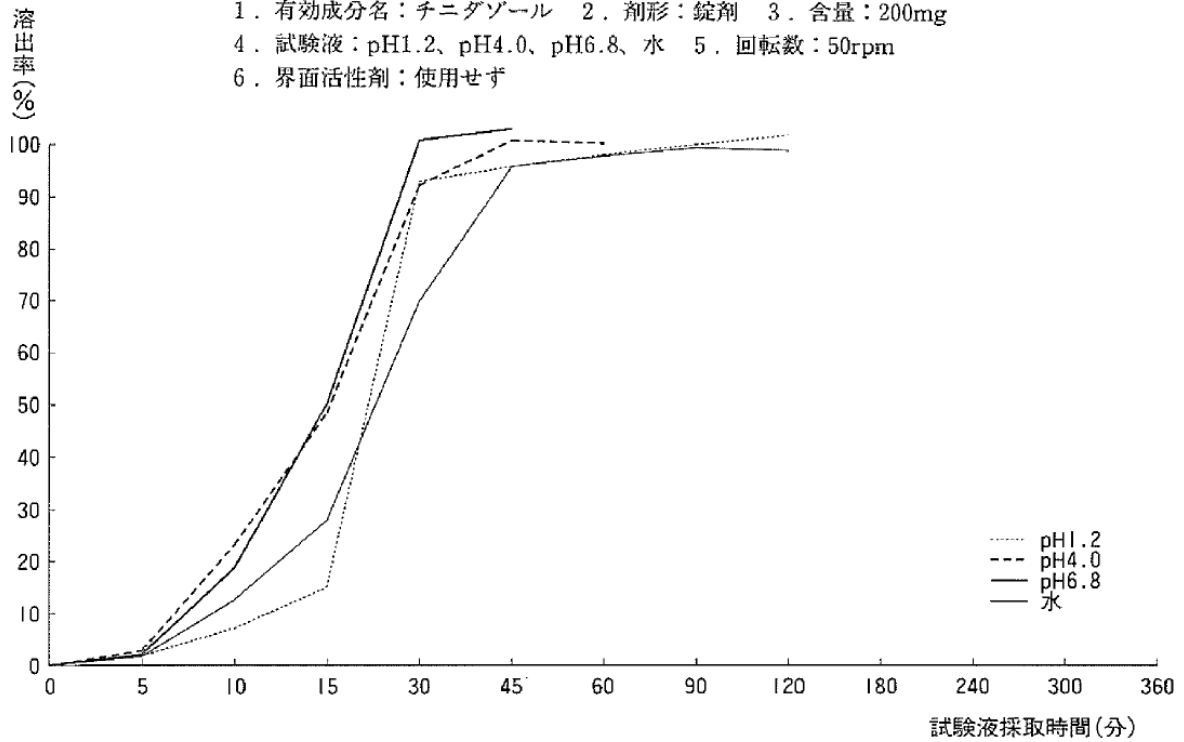
【品質再評価（医療用医薬品品質情報（オレンジブック））】<sup>1)</sup>

※先発医薬品の溶出曲線測定例を示す。

溶出曲線測定例

チニダゾール錠 200mg

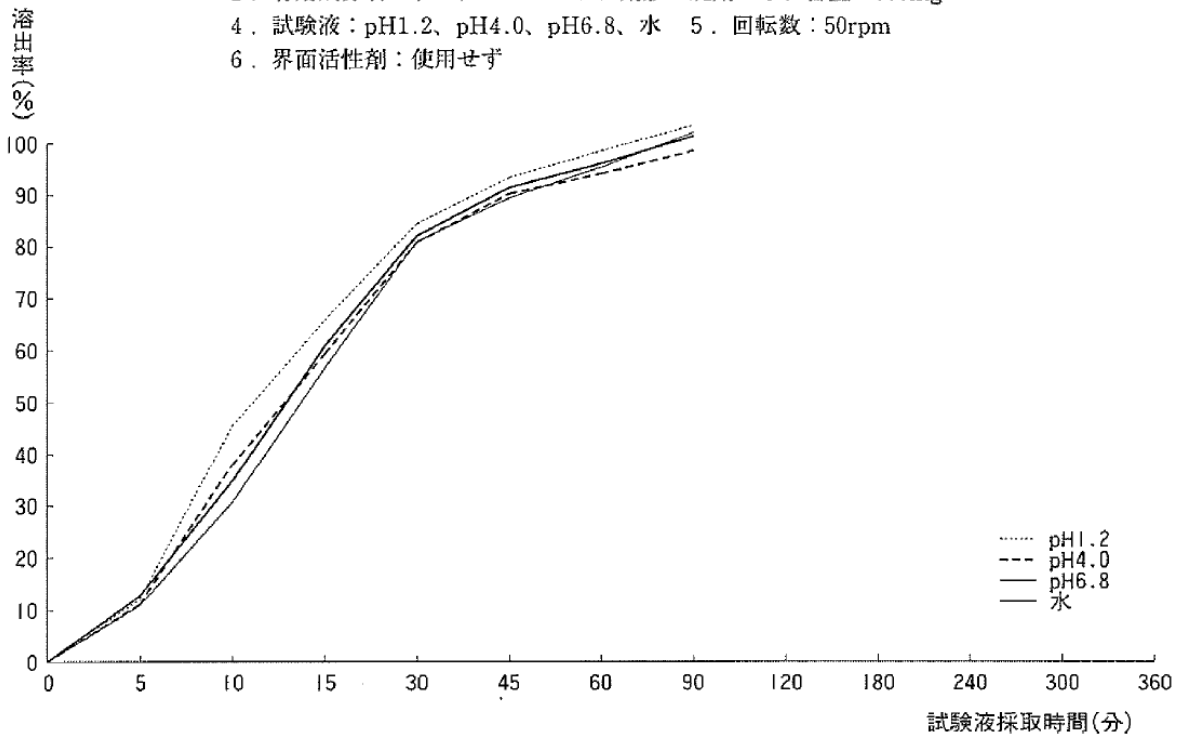
1. 有効成分名：チニダゾール
2. 剤形：錠剤
3. 含量：200mg
4. 試験液：pH1.2、pH4.0、pH6.8、水
5. 回転数：50rpm
6. 界面活性剤：使用せず



溶出曲線測定例

チニダゾール錠 500mg

1. 有効成分名：チニダゾール
2. 剤形：錠剤
3. 含量：500mg
4. 試験液：pH1.2、pH4.0、pH6.8、水
5. 回転数：50rpm
6. 界面活性剤：使用せず



【溶出試験結果（ジェネリック医薬品品質情報検討会）】

なし

【後発医薬品品質確保対策事業検査結果】

なし

**チニダゾール錠**  
**Tinidazole Tablets**

**溶出試験** 本品 1 個をとり、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 1mL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中にチニダゾール (C<sub>8</sub>H<sub>13</sub>N<sub>3</sub>O<sub>4</sub>S) 約 13 μg を含む液となるように水を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別にチニダゾール標準品を 105°C で 2 時間乾燥し、その約 0.027g を精密に量り、水に溶かし、正確に 100mL とする。この液 5mL を正確に量り、水を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 317nm における吸光度 A<sub>T</sub> 及び A<sub>S</sub> を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

チニダゾール (C<sub>8</sub>H<sub>13</sub>N<sub>3</sub>O<sub>4</sub>S) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 45$$

W<sub>S</sub> : チニダゾール標準品の量 (mg)

C : 1 錠中のチニダゾール (C<sub>8</sub>H<sub>13</sub>N<sub>3</sub>O<sub>4</sub>S) の表示量 (mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
200mg	30 分	85%以上
500mg	45 分	75%以上

**【関連情報】**

なし

**【引用情報】**

- 1) 医療用医薬品品質情報集（オレンジブック）（平成16年10月版、厚生労働省医薬食品局審査管理課）
- 2) 医療用医薬品再評価結果 平成16年度（その2）について（平成16年9月7日付け薬食発第0907005号、厚生労働省医薬食品局長）
- 3) 日本薬局方外医薬品規格第三部の一部改正について（平成16年9月7日付け薬食発第0907002号、厚生労働省医薬食品局長通知）